

一辺 2 cm の正方形

第 74 次千葉県教育研究集会
第 14 分科会 両性の自立と平等の教育

分科(散)会名を記載

男女行動参画社会をめざして ～互いを認め合い 支え合って働くために～

1. 主題設定の理由

人々が働くことを楽しみ、生き生きと生活できる社会とは、ワークライフバランスのとれた

項目だては
主題設定の理由・目的・仮説・内容結論・まとめ等を
ベースとして考え、研究の流れがつかめれば、
適宜変更しても良い。

たいと考え、本主題を設定した。

2. 研究の仮説

○家族の一員としての役割についての
行うことで、子どもたちが家族で助け合い、協
力することの大切さに気づくであろう。

○男女共同参画社会の仕事や働き方について
の授業を行うことで、男女が支え合い生き生き
と働く社会のあり方に気づくであろう。

3. 研究内容(授業実践)

○小学校 低学年 「だれのしごとかな」

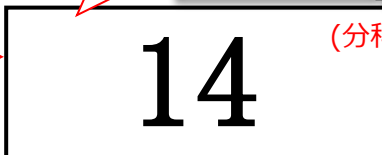
ねらい 家族が助け合
切さに気づく。

家庭の仕事に焦点をめぐ、このは仕事かめ
か、だれが主にしているのか、視覚に訴えやす
くするためにカードを使って掲示した。

子どもたちは、家庭の仕事が考えていた以上
にたくさんあることを知り驚いていた。また、
カードの数で視覚化され、母親が多くの仕事を
していることが具体的に感じていた。仕事カー
ドを分類する活動では、楽しんでとりくむこと
ができた。



高さ 2 cm の正方形
または長方形



(分科会番号)

←2.5 cm →

2.5 cm

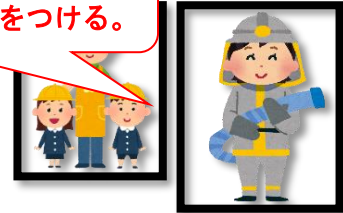
25×25 mm

○小学校 中学年 「女の人の仕事、男の人の
仕事ってあるのかな？」

ねらい 職業は性別に関係なく自由に選択し
てよいことに気づく。

子どもたちにとって身近なよく知っている
職業を、思い込みで性別に分けていることに気
づいた。話し合いや資料を見ること
によって考え方が変わり仕事は自分がやりたいこと
であればよいと理解していた。学習を通して男
女に関係なく職業に就けることに気づき、お互
い支え合おうという意見が出され

イラストや図、ワークシート等を
載せる場合は、著作権に気をつける。



○小学校 高学年

「ともに働くよさを考えよう」

ねらい 職業は性差に関係なく自由に選択し
てよいことを知り、ともに働くよさに気づく。

同じ職業の男女の写真を並べて掲示するこ
とによって子どもたちが職業に性別が関係ないこと
がわかり、ともに働くよさを考えることができた。

4. 結論

・学年の発達段階に合わせた活動案を作成し、
職業の授業実践を行ったことにより、性
別に関係なく職業選択をしてよいことや、家庭で
も職場でもともに働くことにより、互いに理解し
合い、支え合うことの大切さを考えることができ
た。

・話し合いの場面で「上司だったら」「仲間だ
ったら」「自分(パートナー)だったら」どう
するかという様々な立場から意見を出し合い、
多様な考え方が共有された。

支部名と分会名を記載する

印旛支部
〇〇市立〇〇小分会

上段=提案者の名前

下段=共同提案者の名前

〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇